

# 踏み跡 <My Mountains>

房総	烏場山と高鶴山	No.265
----	---------	--------

千葉（房総）の登り残した山シリーズ第何段になるだろうか。地図を見ては気になる山を見つけて、見つけては調べ、調べては出かけるというリズムで随分進んできた。烏場山（からすばやま）・高鶴山（たかづるやま）という名前に魅かれた山二つを歩いてみることにした。



平成8年3月3日  
 新検見川駅発7時14分の電車で千葉へ。真っ白に化粧した富士山がくっきりと見え、気持ちの良い朝。外房線は千葉発7時27分。外房線だと富士山が見える訳でもないのに、いささか退屈な時間が流れる。和田浦9時56分着。心なし

か人の動きが多いように感じて周辺を見回すと「花嫁街道ハイキング会」というポスターが掲示されており、日付を見ると今日になっている。団体と一緒にになってしまうと歩きにくいので、急いで長袖ポロシャツに着替えて10時03分に出発。後続の団体との距離を開けるためにできるだけ早足で歩くことにした。右手に海、左手に山、畑には花、日差しはもう春の様相。

烏場山は海拔266.6m、普通の山から比べれば「300m足らずの小さな山」ではあるが、出発地点の和田浦駅は海拔10mあるかないか。海岸線から標高差250m余を登らなければならない。

いちはら橋10時27分。歩いている人は殆どが花嫁街道へ入って行くし、後から来る団体も花嫁街道に入ると思われるので、こちらは花園山コースを選択。おかげで人が来ないので静かである。

金毘羅山10時47分。大きなタブの木がある。見晴台11時。旧烏場展望台11時27分。

烏場山(266.6m)11時45分。富山・伊予ヶ岳・鋸山・愛宕山・嶺岡山地などなど房総の主だった山が良く見えるし、富士山も見える。(下の写真)



昼食と食後の日向ぼっこ。12時35分団体様ご一行が頂上に入ってきたのでこちらは出発。次のターゲットを目指して移動開始。

烏場山の北側の谷に下りて、五十蔵峠。谷間に広がる棚田の様子が何とも言えない美しさ。(下の写真)

日向ぼっこでもしようと思っていたら犬が何匹か来てるさいので取りやめ。ここから対岸の独立峰高鶴山へ。水源貯水池はからっぽに近い状態だ。

高鶴山登山口13時24分。登り始めてしばらく進むと台風の影だろろうか大量の倒木がある。

高鶴山(326m)14時02分。頂上の小さな祠の中に天狗の面が飾ってある。景色は良いところだが、日が陰っ



## 踏み跡 <My Mountains>

てしまって寒いので数分の小休止ですぐに出発。

鳥場山の稜線に戻って（15時08分）下山路は花嫁街道を選択。途中で写真を撮りながら何度も休憩。花嫁街道は、山あいの集落の娘が海沿いの集落へ嫁に行く時に越えた山道らしい。マテバシイの密林、今まで登った山ではあまり見たことがないような光景だ。



高鶴山山頂

和田浦駅に16時50分に到着。帰路は内房線で日没の富士を楽しもうと思っていたが、電車の時刻表をみたら待ち時間がかなり発生しそうなので諦めて外房線ルートを選択。この時間帯になると無人駅になってしまうらしく、「乗車駅証明書・和田浦駅」と書いた証憑を取って改札口に入るようになっていた。

和田浦発17時37分、鴨川で千葉行の電車に乗り換え。缶ビール・カレーパンそれに心地よい睡眠。

千葉駅に19時50分頃到着し、20時半に自宅帰着。



以上